

第4回デジタル化検討会 議事メモ

令和6年10月15日(火)

○開会

○県から（プロトタイプデモの実施について） 13:30～13:40

- ・構成員が所属する自治体を11月中旬より順次訪問し、現場でのデモを実施する
- ・日程は資料のとおり、検討会に参加していない職員へも参加の声掛けをお願いしたい。

○ワークショップの目的と流れの説明 13:40～13:50

資料「重層的支援体制整備事業に係るデジタル化検討会4（進行資料）」により説明

- ・WS型の対面形式は今回で終了。
- ・デモで各市に御意見いただいた内容を次回の第5回検討会で報告。
- ・第7回検討会で全国展開に向けての報告
- ・今回の第4回検討会の論点は2つにまとめている。
 - ① 各市の実運用での受容性 ② デジタル化における価値
- ・システムのメインユーザーは多機関協働事業者、他に支援会議等のメインメンバーが利用できるイメージ。
- ・WSのグランドルールの説明

○第3回検討会ふり返り、Ex テーブルの説明 13:50～14:05

- ・資料「重層的支援体制整備事業に係るデジタル化検討会4（進行資料）」、「Ex テーブル」により説明

■第3回検討会振り返り

・①記録コンシェルジュ

アイコン部分や未作成画面を作成した。印刷ボタンや支援状況の表示など。アクセスコントロールでは本人同意前後での表示の切り替えができる。

・②バーチャルコーチ

社会資源のメンテナンス方法、統計などについては、今後も継続して検討。年度末の最終報告までに反映していく予定。

・③バーチャルマネージャー

相談者の実施状況や支援者のマイルストーンを組み込む。

ホーム画面にアラート機能、通知の一覧について追加している。相談者の対応、他拠点からのヘルプ、拠点内のフォローの3つ

■Ex テーブルの説明

- ・Ex テーブルの一番上、8つのシーンが時系列順に並ぶ。
- ・青色：多機関協働事業者、緑色：関係機関の入力する部分。
- ・本検討会では、ピンクで囲んでいるエリアを優先度高めで議論したい。
- ・画面上のダミーデータとして、「多機関協働事業者の橘さん」と関係機関の「A地区地域包括支援センターの安藤さん」を支援者側の主な登場人物としている。

○シナリオに沿った画面デモ 14:05~14:35

資料「デモシナリオ（配布用）」により説明

- ・「世帯みんなが主役」というコンセプトで作成、ダミーデータとして「高柳家」を置く。
- ・ジェノグラムやエコマップは自動生成・自動更新が可。
- ・関係機関の安藤さん側では、氏名表示が ID になる。世帯情報などは操作できない。年齢や連絡先等も隠されている。
- ・収入等の状況はシーン③「自宅訪問調査」で入力できる
- ・ジェノグラムに家族の間での関係性も残せる（関係悪化ならギザギザ線、等）
- ・多機関協働事業者の橘さんが会議議録を作成できる。関係機関に共有する範囲で PDF が作成され、チャットで共有できる。
- ・個人情報に記載されている状態で、チャットでリンクを共有すると、「個人情報の取扱いに注意ください」といったアラートが出る。

○休憩 14:35~14:45

○グループ討議 14:45~16:00

■グループA

◇「シーン② 新規事案の登録」について

・発言者

世帯で管理するのは良いと思ったが、親族についても紐付けできるといいと思った。

・ファシリテーター

血縁関係のない方もケースの中では「関係者」としていると思うので、まとめて管理できれば。

・発言者

「シーン① 事案の発覚」でチャット登録されるとメールで紐づけてお知らせされると良いと感じた。お知らせ先は組織アドレス宛てだと見落としが少ないかと。

・発言者

同じ意見。

・発言者

メール等でも通知が来るように環境を整えておくと、見落とし防止になる。

・ 発言者

個人宛てにチャットを送ることはできるか。

・ ファシリテーター

グループ宛てでも個人宛てでも、どちらも可。

・ 発言者

事前に連絡先の登録が必要か。

・ ファシリテーター

お見込みのとおり。

・ 発言者

一つの機関で、複数名や複数の部署が関わることもある。

・ 発言者

ケース事案に係る関係機関から一番最初に来る連絡は重要であることが多いので、チャットは個人宛てではなく、共有できるグループ宛てに届いてほしい。

・ 発言者

同意見。その組織が属するグループ宛てに届くと良い。

・ ファシリテーター

そうなると、管理者機能と一般機能の検討が必要かもしれない。

・ 発言者

業務効率化のため、チャットの定型文があると便利。

・ 発言者

例えば共有のやり方として、あるケースの話だが多機関協働事業者から地域包括支援センターに対し情報共有をするのか。また、ケアマネ個人に情報共有する場合、送り先はどうするか。こういった課題もあるので、名刺アプリとリンクできると楽だと思った。

・ ファシリテーター

システムに登録していれば、苗字を入力すると候補が表示される。

・ 発言者

情報の発信元がシステム上でも見えると良い。

・ 発言者

名前と生年月日が重複する方は、どの人かわかるように工夫が必要。

・ 発言者

国のシステムはそうになっている。過去に相談がある可能性がある则表示される。

・ 発言者

二重登録は避ける仕組みが良い。

・ 発言者

多機関協働事業者がケースから抜けた後も、関係者間では利用したいかもしれない。

・ 発言者

ジェノグラムの履歴は時系列で残るのか。

・ ファシリテーター

エコマップは時系列で変化を表示できるが。

・ 発言者

例えば出産したとか、亡くなったとか、そういう変化にどのように対応していくか。今のシステムの感じだと、現状の分しか表示できないのかなと思った。

・ ファシリテーター

亡くなった場合は「×」表示となる。出産については、コメントで追加できる想定。

・ 発言者

ジェノグラムも PDF 化できるといい。情報共有時にわかりやすい。

・ 発言者

特殊な家族構成等に対応できるよう、ジェノグラムに画像を取り込めるとよい。

・ファシリテーター

手書きで書いたものをカメラで撮影して取り込める。

・発言者

相談歴、困りごとなどに個人名が入っている場合、マスキング等置き換えできるのか。

・ファシリテーター

そもそもその部分は、共有はされない想定。

・発言者

「政子さん」なら「Mさん」のようなわかりやすい表記が良い。

・ファシリテーター

ケースごとに ID を付与する想定だが、相談者等にニックネーム等があるといいと理解した。

・発言者

共有先が案件を確認する際には、個人名はイニシャル表示くらいの方が良いと思う。

・発言者

世帯のケース番号も必要と思う。

・発言者

ケースごとの ID は、ケースのシステム登録からケース終了までの ID という理解で良いか。また、終了後に再度登録された場合は新規 ID となるか。

・ファシリテーター

お見込みのとおり。

・発言者

エコマップの自動作成とはどういう機能か。

・ファシリテーター

ジェノグラムは世帯情報を入力すると自動更新がかかる仕組み。例えば「娘」や

「孫」が登録されていれば追加表示ができる。
エコマップは相談歴の更新から追加表示できる。

・ 発言者

個人情報はどこまで伏せるのか。

・ ファシリテーター

名前はイニシャル表示とし、年齢、連絡先及び住所はマスキングされる。性別はそのまま表示。

・ 発言者

(世帯の中で複雑・複合的な課題を抱えているケースがあるので) 子ども分野の支援機関が、高齢分野の支援を受けている世帯情報を確認できるか。

・ ファシリテーター

ジェノグラム表示なら確認できる。高齢分野に関わっている機関名等は、個人情報にも関わってくるので、本人同意が取れないと見れない。

・ 発言者

世帯全体像は知りたい、エコマップが一番わかりやすい。世帯への支援体制が想像できる。そこが伏せられるとわからない。

・ ファシリテーター

個人情報がマスキングされた状態でも世帯像を知りたいニーズがあると理解。

・ 発言者

エコマップの枠組みの外にいる事業者は、多機関協働が入力する必要があるか。

・ ファシリテーター

そのとおり。例えば、病院などを想定。

・ 発言者

本人同意がなければ他機関が支援経過を見ることができないというのはわかったが、狙った項目についてマスキングすることはできるか。

・ファシリテーター

やろうと思えばできるが、今は個人情報ありなしだけで選択する想定。

・発言者

名前の前にシャープ#を付けると、自動で消える等の機能があると良い。

・発言者

年齢等は時間とともに自動で変更されるか。

・ファシリテーター

その想定で開発中。

・発言者

例えば、生年月日がすべてわからずとも、西暦だけわかれば年齢が更新されると良い。

・発言者

ジェノグラムでも、エコマップのように関係機関を世帯全体で確認したい時がある。

・ファシリテーター

現時点ではエコマップを切り替えないと見れない。一覧的なものでも良いか。

・発言者

それで良い。

・発言者

エコマップにもコメントを入れられると良いと思った。例えば相談者から、A機関へは情報共有したくないといった場合がある。

・発言者

要配慮個人情報がマスキングできるといい。

・発言者

例外ケースにおいては、情報共有部分は従来どおりシステム外での対応をすることがあるかも。その場合は日程調整のみ使うなどして。

・ 発言者

相談歴とはいわゆるケース記録にあたるものか。

・ ファシリテーター

支援経過に該当するもの。

・ 発言者

ケースを一覧で確認できると見やすいと感じた。

・ 発言者

現在の国システムでは概要が記載できて、Excel ベースにも落とせる。

・ ファシリテーター

支援経過に加えて、ケース概要欄があると良いと理解した。

・ 発言者

支援経過（相談歴）のみのリスト部分も csv 出力ができると良い。

◇「シーン⑤ 会議の準備」について

・ 発言者

各機関の困りごとだけでなく、できていることやサブ情報も記載できるといい。

・ 発言者

誰でも見れるのか。

・ ファシリテーター

関係機関は、自分が記載した部分は見ることができる。

・ 発言者

各支援機関は困っていること（課題）を抱えているので。困りごとを書くことは、会議の参加者の満足感を高めることに繋がる。

支援経過すべてを記載ことになると作業ハードルが高いと感じる機関もあるかもしれないので、困りごとくらいであれば記載してもらいやすいと思った。

・ ファシリテーター

支援経過と困りごとの両方の入力を想定していたが、片方だけの記載でも良い

と理解した。

◇「シーン⑥ 支援会議」について

・ 発言者

会場の設備も必要と思った。また、議事録も会議しながらだと作成が難しいので、音声マイニングシステムがあると良いと思った。

・ 発言者

支援会議の記録をホワイトボードに手書きで書いているので、記録をシステムにそのまま入力出来て共有できる仕組みはとても良いと思った。また、困りごとでも支援会議の事前情報として把握できるのはとても良いと思った。

◇「シーン⑦ 本人同意取得」について

・ 発言者

市の中で出た意見で、年齢構成を組み合わせると世帯が特定されるおそれがあるという意見があった。このため、記載は例えば「40代前半」などになればありがたい。

・ 発言者

(運用上必要な場合でも)本人同意前の情報は共有したくない、といったケースがある。例えば、時点を限定して共有することはできるか。

・ ファシリテーター

要配慮個人情報該当すると感じた。

・ 発言者

情報共有の ON/OFF 機能は誰でも設定が可能か。誰でもできるのは運用上怖いと思った。

・ ファシリテーター

現在は多機関協働事業者を想定。

■グループB

・ 発言者

どの機関がいつ時点でアカウントを持つことになるかが気になった。多機関協働事業者は全員アカウントを持つことになるのか。また、地域包括支援センターや障害分野の支援機関については、事案が発生し、連絡する際に権限が付与されるのか。

・ 発言者

システムを日常的に見る人と見ない人がいると思う。あまり範囲を広げすぎると、使わないのに持つことになる。最初は生困部門、地域包括、基幹相談支援センターくらいだろうか。

・ 発言者

自治体の規模によって違うと思う。本市は地域包括支援センターが10箇所未満と比較的規模が小さいのですべてのセンターがアカウントを持つイメージ。アカウントは組織で持つのか、個人で持つのか。細かいやり取りは個人と思うが、統括する長はすべて確認できる方がいい。

・ 発言者

本市の地域包括支援センターは10か所以上存在する。ケースバイケースで運用の仕方が違うことになると思う。

・ 発言者

職員は異動などあるので、どこかのタイミングで棚卸しないといけない。

・ 発言者

職員の異動と同時に閲覧不可となるとよい。

各機関が情報を持ち寄って支援会議を開催するが、個人情報の本人同意が取れた後、どんどんケースを進めていくには最初にそもそも会議にどの機関を参加させるか等の調整があるのではないか。

・ 発言者

組織でアカウントを取得できると良い。偏った個人のみに関係からの依頼が来ても困るので、組織対組織の話にした方が良い。

・ 発言者

例えば、地域包括支援センターの異動の管理は市所管課ではできないので、機関としてしかアカウントを持たないようにするなど、どのようにも対応できるのではないか。

・ ファシリテーター

窓口として受ける機関のアカウントでやり取りし、後ろに回答した人の名前をカッコで入れるなどか。

・ 発言者

例えば職員が退職後も、普通にインターネットから閲覧できてしまうとまずい。

・ ファシリテーター

パスワードを定期的に変えないと入れないなど、削除しなくても入れないやり方はある。

・ 発言者

例えば、（多機関協働事業者の他にも）包括的相談支援事業者などは組織アカウントを所持するなどし、所属内の権限設定は所属長とすれば責任所在等もはっきりするのではないか。

・ 発言者

個人情報同意を取れたらそれをシステムで表示できて、関係機関が情報を追加で載せられるたら効率が良い。同意書を掲載して印刷できるといい。

・ 発言者

（生活困窮事業のシステムもそうだが、）申請書類等が印刷できれば後は本人が確認しサインをするだけなので対応が楽だと思う。

・ ファシリテーター

事案を登録する段階で、本人同意を取りに行けると便利ということか。

・ 発言者

本人の同意書をスキャンできて本人がその過去に同意した事実を忘れたとしても、同意書等を示せると便利。

・ 発言者

写真などの参考資料も添付できるといい。診断書や手帳、受給者証などの期限がいつか確認したりする。入力する欄があるかもしれないが、本人が見せたものをスマホで撮影することがある。

・ 発言者

包括的相談支援事業者からの相談票をシステムにベタ打ちするのではなく、そのものを共有できると良い。そのまま添付できると楽。

・ 発言者

紙保存よりデジタルで、という考えだと、ファイル保存できたら良いと思う。そもそも既存システムとの二重入力の課題をどうやって解消しようとしているか。

・ ファシリテーター

既存システムとの連携が重要と思っているが、やり方がいくつもあって、スピード感やどこから始めるかも含め現在検討中。

・ 発言者

入力端末は PC か、スマホか。人によっては外出が多く事務所の PC の確認が遅れたりする。一方スマホだと不特定多数の人が閲覧できてしまう危険がある。

・ ファシリテーター

現在は相談者の各種手帳や診断書等をスマホで撮影し、PC へ転送しているか。

・ 発言者

本市では個別のチャット機能を使って他の関係機関とのやり取りなど、スマホを使って効率的に行っている。

・ 発言者

業務用スマホを使用している。

・ 発言者

市のセキュリティポリシーに準拠したツールがあって、個人のスマホに入れられる。本システムをスマホで実現しようとする、全部をスマホでできる形にするのか。

・ファシリテーター

スマホ用と PC 用の画面を 2 種類作る形。

・発言者

収入については、相談者個人ごとに入力する形だと、世帯全体としての収入規模感が見えにくい。(収入に限らずだが)世帯全体を把握したい。

・発言者

同意。家賃は子が支払うが、光熱水費は親が払う等、世帯の中でも支払者が分かれることがある。

・発言者

家計表のようなものがあるといい。

・発言者

エコマップも個人ごとではなく全体で把握したい。世帯で関わる社会資源の全体像が見れるように。

・発言者

ジェノグラムでは「前妻」や「内縁」など複雑な家庭を図示できるか。例えば、離婚歴が 3 回あり、子はすべて父親が異なるなど様々なケースがある。どこまで表示できるか。

・発言者

自動生成機能は便利だが、家族構成が複雑な場合どうするか。都度更新されるのもいいが、一部分のみを修正したい時にどのように修正されるのか。

・発言者

同居/別居は住居項目のところに表示できるようにしてほしい。
現在ジェノグラムを作成する際は、手書きで同居の場合など枠を書いて表示している。ところで、世帯の検索はどのようにできるか。

・ファシリテーター

氏名検索を行うと該当世帯がヒットするイメージ。

・ 発言者

氏名検索では（姓と名の間の空欄のあるなしに関わらず検索できるような）、
「あいまい検索」ができると良い。

・ ファシリテーター

「シーン⑤会議の準備」では会議に参加する機関に情報を追記してもらい、
議題をあらかじめ整理できる。

・ 発言者

個人情報をもスキングしている状況で追記入力できるのか。
そのような状態で情報を共有したとしても、誰の情報であるか不明なのではな
いか。

・ 発言者

各相談機関は自所属分しか情報が見えないということだが、書き出す段階で
他機関の画面も確認できる方が記載しやすいのではないかと思った。

・ ファシリテーター

率直に書きづらいこともあるとのことだった。例えば、「他の機関が手伝ってく
れない」とか。

・ 発言者

他機関の情報が見えていた方が、自機関ならこういうことができるかもしれない
との可能性を考えてもらえるのではないか。本来なら、共有すべき情報と、
取りまとめ機関だけに知っておいてもらいたい情報等を適宜コントロールして
いきたいが、事務ミスが発生するかもしれず難しい。

・ ファシリテーター

機能を複雑にすると使い方が難しくなるため、安全に使えるように敢えてシン
プルにしている。どうしてもヒューマンエラーは起きてしまう。例えば、名前を
イニシャル表記にすると数字よりもより個人としてイメージしやすくなるかも。

・ 発言者

日常的にチャットを見てないと、そもそも連絡が来てることにさえも気づかな
い。

・ 発言者

チャットが来ていると通知が来るなどの機能があるといい。

・ 発言者

システムにログインしていればチャットが着たことわかるようになっているが、ログインしなくてもわかるようになれば。

・ ファシリテーター

例えば各所属で使用する現在のシステムではキャッチアップできているか。

・ 発言者

当所で使用するメールでは右端に通知が来る。PC の前にいないと気づかないのでリアルタイムには把握できていない。

・ ファシリテーター

例えばそういう場合は、確認できない時間はどの程度か。

・ 発言者

今日は朝一で確認したが、夜までずっと見れない。

・ 発言者

主要機能は基本的に A グループに該当する職員（多機関協働事業者）が確認するが B グループ（多機関協働事業の委託元、関係機関）でも情報が見たい。

・ ファシリテーター

承知した。このような意見をいただけるとありがたい。

・ 発言者

市としてもできる限りのケース情報はほしいところ。

・ ファシリテーター

困りごとの詳細は他機関には見えない形になっている。相談内容は情報としてあった方が良いか。

・ 発言者

事案により、ケースの課題になっているなら知りたいところもあるし、世帯情報

だけ知っていれば良いこともある。本人から同意を得るまでが大変。

・ 発言者

児童虐待分野だと本人同意なしで取組むことが可能で、課題なども最初から他機関と共有できるので、そのあたりはまだ（福祉相談分野は）難しいと思う。例えば保険証等を写真で撮影しその後必ず消去するなど自治体ごとに工夫し取組んでいる。こういった個人情報をPDF化したファイルも閲覧不可とするか。

・ 発言者

本市は直営で実施しているので、庁内の課に（例えば収税に滞納があるか等）内々に確認したりする。本人には確認したことは伏せているが、事前にある程度の世帯情報を掴んでいないと、提案しようとする支援プランがそもそもマッチしないこともある。

・ ファシリテーター

（今伺ったように）内々で情報を把握していてケースを進める情報というのは、おおよそ定量的にどのくらいか。

・ 発言者

それは機関や事案による。自治体と民間では、内々で取得できる範囲が大きく異なる。

・ 発言者

相談歴がない人に初動に関わる場合、そもそもその人が本当に初めての案件なのかは、周りの機関に確認しないとわからない。

・ ファシリテーター

そもそも今のシステムで画面を見ながら会議でケース議論できそうか、感触を伺いたい。

・ 発言者

多くの情報を閲覧できれば支援会議でより深い議論ができるので、可能な部分は情報共有できた方がよい。

相談歴は多機関事業者が入力するので、これまでケースに関わってきた関係機関が画面上では確認できない。画面まわりのデザインなどは良いと思う。

・ 発言者

現在は会議前に説明シートを関係機関に事前に送っているが、全員がこういう画面でタブを動かして会議に臨むかということ、人によると思う。

まずは全体としてどうなっているかのサマリーが押さえることが大事。

・ 発言者

個人も世帯も、どちらの情報もあると良い。

・ 発言者

支援会議等に臨むに当たっては、世帯全員の年齢は知りたい。使える制度が違ってくる。

・ ファシリテーター

年齢は表示されているので、本人同意を取得した上で「個人情報有」をチェックして共有する。

・ 発言者

「個人情報」としてどんな情報を認識しているかがわかるとよい。何を、どういう仕組みでマスキングするのか。

・ 発言者

このシステムは、市から委託を受けた機関のみ使用可能で、他の機関からは見れず、チャットもアカウントを持っていないと見れない。

複雑化した対応で、教育機関やサービス提供機関等が参加すると思うが、委託機関だけ見れて、後は閲覧不可となるとうまくいかないと思う。他機関も同じ目線でいられるといい。

・ ファシリテーター

世帯画面を PDF で出力したものをチャットで共有するとか。

・ 発言者

チャットで関係者を入れてコミュニケーションがとれる場が欲しい。本市としては一番欲しい機能。複雑化したケースを対象とするとき、世帯員同士が関わって影響を及ぼしていると思うので、リアルタイムに情報共有ができると、Aさん、Bさんそれぞれにどういう支援がされているか配慮しながら支援を実施できる。

・ファシリテーター

世帯単位で個人情報管理することについて、運用や共有される情報などに問題を感じる部分があれば意見をいただきたい。

・発言者

個人情報有になったときに、奥さんや子どもの情報も見れてしまうので、例えばDVなど関係が悪い場合はどこでどう情報が漏れるかわからず、状況によっては見せない方がいいこともある。

・発言者

世帯の中で利益相反がある場合は、情報の取扱いには注意しないとイケない。

・発言者

例えば、ケアマネのように現場で働く人と、実際の会議に出る人は異なる。どこまで情報を見せていいかは内容によって違う。

議論結果の共有と質疑応答 16:00~16:20

○A チーム

・個人情報が見えられていても、世帯像を知りたい。エコマップやジェノグラムが見れるといい。血縁関係がある人を関係付けられるとか。

・年齢の組み合わせで世帯がわかる可能性がある。「40代前半」のようなぼかす書き方も必要。

・家族に相談していることを知られたくないといった場合もある。要配慮個人情報がある場合は個別対応も必要では。

・ケース記録をリスト形式で見れるとよい。

・各支援機関の困りごとについて、面識のない関係機関でも入力しやすいようにしたい。また、困りごとのみでなく、機関としての強みも記載できるといい。

・本人同意 ON/OFF でなく、ONにした以降の情報のみ見れるなど、時点を区切れるといい。

○B チーム

・アカウントの管理を誰がするのか、退職した人はどうするか。

・窓口として機関のアカウントがないと、個人の話しやすい人にどんどん依頼が行ってしまう。

・本人同意が最初に実施できる工夫がシステム上であるといい。

・スマホで入力出来ればよい。

- ・通知で気づける仕組みが必要。
- ・世帯情報も個人としての情報も、両方見れる仕組みが欲しい。世帯全員の収支や世帯全体のエコマップなど。
- ・複雑なケースでのジェノグラムについて、個別に編集できる機能が欲しい。
- ・世帯のあいまい検索ができるといい。
- ・システムを使用できない関係機関へのフォローは課題。
- ・個人情報 ON/OFF で見えるところと見えないところの区別をどうするか、世帯で仲が良いかといったようなケース状況にもよる。

○全体

・発言者

素晴らしいファシリテーションだった。以下2点述べたい。

- ①自治体それぞれのやり方、個性がある。飲み込んだうえで標準的なシステムを作るのが悩ましいと思う。個人的にはシンプルに作った方が良いと思う。システム導入と併せて、各自治体のやり方の標準化も考えた方が良いと思う。
- ②世帯員に対し12ケタ半角数字などを番号として持たせることはできるか。

・ファシリテーター

- ②はできる。①も業務のBPRとセットだと認識している。

参加者から感想 16:20~16:45

・発言者

どうやって運用するかを今後共有しないといけないなと思った。

・発言者

アナログで良かった部分をどう生かしていくかが課題と思った。
見やすい画面が出来ていて素晴らしい。

・発言者

ここまで可視化されたことが凄いと思った。また次回が楽しみ。

・発言者

とりあえず運用してみて、追加とする部分もあっていいのではと思った。

・ 発言者

頑張って使いこなさなきゃと思った。個人情報の運用上がシステム化によってより明確化されることになる。

・ 発言者

ジェノグラムの自動更新は感動した。

・ 発言者

現場の職員も喜ぶものだった。

・ 発言者

市内の相談支援機関にこの凄さをどう伝えていくか。うまく広げられればいいと思った。

・ 発言者

デモで触れるのが楽しみ。

・ 発言者

ここまでの形になっているのがすごい、実際に触ってみるのが楽しみ。

・ 発言者

機能によってはいさぎよく諦める部分も必要と思った。一方で、色々な現場の実情が反映されていると思った。

・ 発言者

世帯に寄り添う姿勢が感じられて良かった。運用にあたっては頭を悩ますことも多いと思うので考えていきたい。

・ 発言者

情報共有はやりやすそうという印象。ひとケースでも実際にできれば。

・ 発言者

どんどん進化していくところを見て、早く使ってみたいという気持ちと、しっかり使えるか、検討会に来ていない職員への説明が大変とも思った。

・ 発言者

便利になればなるほどリスクもあるので、センターにどういきわたらせるかを悩んだ。使いこなせるスタッフとそうでないスタッフの差もあるかも。

・ 発言者

個人情報取り扱いは最後まで議論に挙がっていた。このようにシステム化することで、普段、人力で実施している部分が見えてきて福祉相談の業務の煩雑さを改めて感じた。

・ 発言者

素晴らしい画面構成だと思う。全国展開の際、ランニングコストが安価になるといい。各事業所が使えるようにネットワークの配慮をしていただければ。

・ 発言者

委託事業者以外とも情報共有を図れるよう考えていきたい。

・ 発言者

システム環境を築きながら今後詰めれるところを詰めれば。

・ 発言者

今後の考えるべき視点として、システムで解決すべきところと、自治体の内で運用で回避するところと切り分けて考えていければと思った。

・ 発言者

普段の業務がいかにアナログかに気づかされた。本検討会でも各市の意見を伺っていると新たな気づきがあったので明日から業務に活かしていきたい。

・ 発言者

システム化は夢のような話と思っていたが、現実になるんだと思っている。

・ 発言者

多機関協働を推進していきたいと思えるシステムで凄と思った。

・ 発言者

色んな機関を巻き込んでいくリーダーシップが求められると思った。早く触ってみたい。

・ 発言者

連携を促す機能があるのが、現場の意見を反映したシステムと思った。千葉県の集合知となるシステムになる。

・ 発言者

初見の人がわかりやすいようなマニュアル、わかりやすいようなシステムだと利用者にとって良い。

○閉会（検討会終了）